

## 令和4年度高志高校入学式 式辞

冬の寒さに身を縮めていた草木が、暖かな日差しと春風を受けて、一斉に芽吹き始めています。

本日、小林一朗PTA会長様、ならびに新入生の保護者の皆様に御列席を賜り、福井県立高志高等学校令和4年度入学式を挙行できますことは、新入生はもとより私たち教職員にとりましても、大きな喜びであります。高いところからではございますが、心から厚くお礼を申し上げます。

ただ今入学を許可いたしました249名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

今日まで皆さんを育ててくださったご家族、中学校までお世話になった先生方、皆さんを温かく見守ってくださった地域の方々への感謝の気持ちと、今日の喜びを胸に、高志高校での3年間を過ごしてください。

本校は、今年度、探究創造科をスタートさせます。「探究」とは、様々なことに興味・関心を抱き、自ら問いを発したり試行錯誤したりしながら成長を続けようとする事、「創造」とは、新しいものや文化を創ったり今ある問題を解決したりしようとする事を指します。探究と創造を重ねながらより良い社会づくりに貢献しようとする「高志の学び」を一緒に追求していきましょう。

本校の歴史について、少しお話しします。本校は、1948年4月、福井第二高等学校としてスタートし、その後、高志高等学校と改称されました。1969年には理数科が設置され、2020年に閉科されるまでの50年以上にわたって、2学科体制をとっていました。2014年には高志中学校が併設され、中学校1年生から高校3年生までの6学年が同じ校舎で学んでいます。高校においては、高志中学校から進学した生徒と県内各地の中学校から入学した生徒が、学習、部活動、学校行事等で、切磋琢磨しながら学校生活を過ごすようになりました。多様な生徒が集う刺激あふれる学校生活から得られる経験や視点は、他の高校では得られないものであり、皆さんの人生の財産になるものと確信しています。

本校の校訓についてお話しします。本校の校訓は、「克己・創造・敬愛」です。「克己」とは自分に打ち克ち人生を切り開いていくこと、「創造」とは新しいものを創ったり問題を解決したりすること、「敬愛」とは他者を理解し多様性を尊重しようとする事を指します。この校訓のもと本校で学んだ卒業生は、すでに3万人を超え、県内はもとより国内外の様々な分野で活躍しています。皆さんも、将来、自分に与えられた場所や自分が選んだ場所で持ち味を生かすことができるよう、本校での学びに力を注いでください。

ここでいう「学び」とは、教科の学習だけを意味するものではありません。決まった答えを導き出すための作業や思考の訓練等に限定されたものでもありません。むしろ、多くの人が答えを見つけられずにいる問題や事柄に対して、他の人と協力しながら現時点での最適な解にたどり着くプロセスを経験することが、これからの時代を生きる皆さんにとって必要な「学び」ではないかと思います。

2年前突如として始まったコロナ禍が、私たちの生活を大きく変えました。ロシアによるウクライナ侵攻が多くの人々を不安に陥れ、国際情勢や経済状況にも影響を与えています。何が起こるか予測できない世の中、明確な答えを見つけるのが困難な世の中になってきました。

このような状況で大切なのは、「自分は将来何をしたいのか」を自分が知っておくということです。したいことは、途中で変わってもかまいません。「自分はどのようなことに価値を感じるのか」「自分はどうなりたいのか」を常に問い続け、自分自身の変化や成長を楽しんでください。「やりたいこと・なりたい自分を実現するためにはどうするとよいのか」という問いに対する答えを自分の言葉で表現し、具体的な行動を起こすようにしてください。

本校の校歌の中に「天地（あめつち）は我らを待てり」という歌詞があります。「世界は私たちを待っている」という意味です。「海山の花としならむ」という歌詞は、「将来それぞれの場所で輝こう」という意味です。

本校の名前の通り「高い志」を掲げ、学習や部活動をはじめとした諸活動に意欲と情熱を燃やすことで充実した高校生活を送り、1日1日確実に歩みを進めてください。3年後、皆さんがこの高志高校から次のステージに進む時、どれだけ大きく成長した姿を見せてくれるのか、楽しみにしています。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。将来、それぞれの場所で光を放つ新入生の皆さんと、この高志高校で出会い、学校生活を共に過ごすことができることを、大変うれしく思っております。本校の全教職員が、心をつなげて、お子様の教育にあたる決意でございます。保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動をご理解くださるとともに、今後のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、新入生の皆さん。明日からの高校生活で、皆さんが自分磨きを続けてくれることを期待して、式辞とします。

令和4年4月7日

福井県立高志高等学校長 山内 悟